ナラティブ・アプローチ

―過去・現在・未来を繋ぐ「物語」としての自己―

担当者	川浦　佐知子（南山大学人文学部専任講師）
概要	思いがけない出会いや転機。様々な場面で下した決断。事故、病、戦争といった困難の体験。喜びや悲しみの記憶。そうしたエピソードが連なって、自分の「物語」は創られます。こうした物語は、「自分」がどのような過程を経て現在に至っているのかを説明してくれるだけでなく、「指針」として今を生き、未来へ向かう自分に方向性を与えてくれます。 ＊＊＊誰でも、過去、現在、未来を繋ぐ自分の「物語」をもっています。＊＊＊ このセミナーではこれまでの体験を振返り、それぞれの体験の関連性を見ることで、自らの人生におけるストーリーとその主要テーマを発掘していきます。 １．ナラティブとは？：10月5日（水）18：30～21：00 ナラティブとは単なる時系列に並べた出来事の集積以上のものをもっています。自分の物語を紡ぎ語ることがもたらすものに焦点を当てます。 ２．ターニング・ポイント（転機）体験：10月12日（水）18：30～21：00 「転機」の体験はそれまでの自己の一貫性を揺るがし、自己の物語の再構築を要求します。ターニング・ポイント体験を振返ることで、自らにもたらされた変化とその影響を見つめます。 ３．夢・物語・神話：10月19日（水）18：30～21：00 自らに訪れた変化、出来事がもつ象徴的意味を理解する上で、夢は大変有益です。夢、物語、神話の関連性を追いつつ、物語の主人公としての自己が歩む「旅」について理解を深めていきます。 ４．集中ワークショップ：10月25日（土）、26日（日）10：00～17：00 土日の集中ワークショップでは、上記の3つのパートを統合しつつ、グループワーク、個人ワークを通して、自己の物語を明らかにしていきます。
日程	火曜日　3回　2007年10月16日／23日／30日　18：30～21：00 土日集中1回　11月10日／ 11日　10：00～17：00
定員	16名
会場	南山大学　D棟
研修費	23,400円